

移動式ソーラー事務所活用による熱中症対策について

工 事 名 令和3年度高田管内道路情報板更新工事
工事場所 高田河川国道事務所管内
会 社 名 株式会社 イートラスト
発 表 者 大久保 巧

1 はじめに

真夏の炎天下での現場作業は、熱中症のリスクが非常に高く、こまめに休憩を取る必要があります。本工事は作業場所が点在及び遠隔地であり、休憩場所の確保が難しいと考え、移動式ソーラー事務所を使用しました。

2 概要

太陽光発電とリチウムイオン蓄電池を装備したユニットハウスを2tトラック上に搭載、室内はエアコン、床カーペット・ブラインドが完備されており、休憩所、打合せ場所などとして利用が可能です。また太陽光発電によるクリーンエネルギーを使用しているため、CO2削減効果も期待できます。

本工事ではこの移動式ソーラー事務所を現場に常備し、休憩場所、打合せ場所として用いる事で、熱中症への対策としました。



写真-1



写真-2



写真-3

3 方法

2tトラックにユニットハウスを搭載しているので運転手のみで設置、撤去が行えます。蓄電池を用いたシステムの為、アイドリングを止めた状態でも使用が可能です。



写真-4



写真-5



写真-6



写真-7

4 結果

移動式ソーラー事務所を作業エリア近辺に設置する事で、こまめな休憩を作業員に促す事ができ、結果として当該工事での熱中症患者は発生しませんでした。また打合せや資料作成などの際にも移動式ソーラー事務所を利用する事で業務の効率化も行えました。

5 あとがき

工事期間が長かった為、11月頃には現場の防寒対策としても使用し、作業員への評価も良かったです。蓄電池を介してのシステムの為、アイドリングを止めた状態でも使用でき、カーボンニュートラルへの取り組みにもなるのではないかと思います。